

商店街ネットキャビン令和3年度6月アンケート

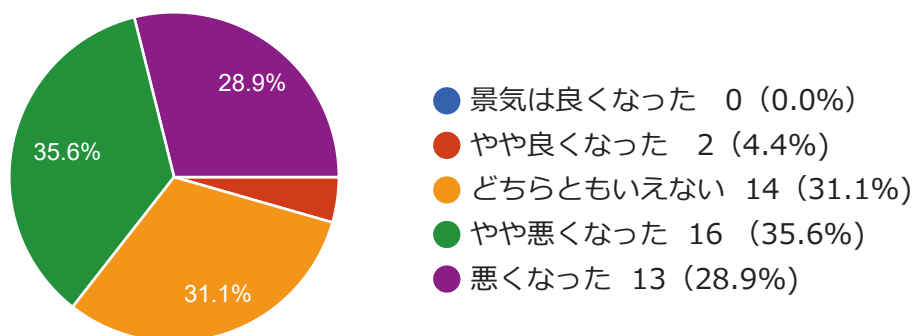
実施期間： 令和3年6月8日～6月18日
対象者： 県内の49地区のモニター69人
総回答者数： 45人（県内28地区）

～景況感について～

1. あなたの所属する商店街（もしくは、お店が立地する地域）での、最近の景況感を教えてください。以下から、一つだけお選びください。（最近の3ヶ月間を振り返って）

45件の回答

- ◆最も多く回答があったのは「やや悪くなった」で、35.6%だった。
- ◆「どちらともいえない」も多く、次点の31.1%だった。

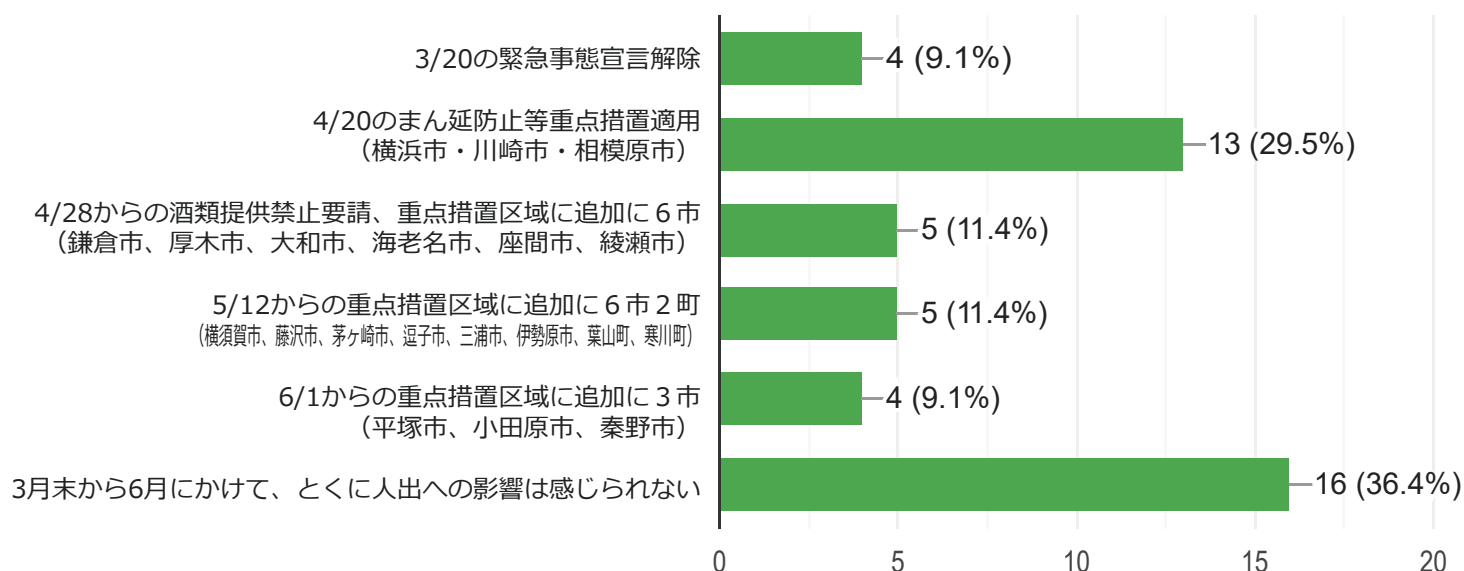


～コロナ禍の影響について～

2. ここ数か月でも、まん延防止等重点措置の区域が拡大したり、6/20まで延長されたりと、神奈川県からの要請も変化しています。あなたの商店街やお店のあるエリアで、それぞれの節目で、人出に急激な悪影響が出たことはありますか？ 影響の大きかったものとして、該当することにチェックを入れてください。

44件の回答

- ◆4/20のまん延防止重点措置適用が29.5%と、回答が多かった。

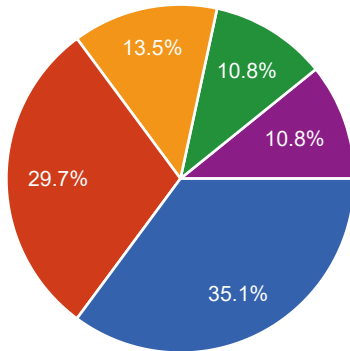


～コロナウイルス感染症の影響による、イベント開催判断について～

3-1. 商店街で開催する毎年の恒例イベント等の予定について、現時点で開催時期による中止や延期の判断をどのようにしているか教えてください。

37 件の回答

◆最も多く回答があったのは「6月～7月末までのイベントを中止、または延期」で、35.1%だった。



- 6月～7月末までのイベントを中止、または延期 13(35.1%)
- 6月～8月末までのイベントを中止、または延期 11(29.7%)
- 6月～10月末までのイベントを中止、または延期 5(13.5%)
- 6月～年末までのイベントを中止、または延期 4(10.8%)
- 年末以降のイベントを中止、または延期 4(10.8%)

3-2. コロナウイルスの影響がない、または対策ができるため「予定通り実施した」「予定通り実施する予定」のイベントはありますか？（開催予定時期と、内容を教えてください）

28 件の回答

◆中元セールなどを実施した商店街がいくつかあった。

- ・11月6、7日ドブ板バザール共催横須賀JAZZフェスティバル
- ・特別ご招待会(6月7、8日のポイント10倍デー)
- ・毎月初めに行う「観音市」は再開
- ・10月末のハロウィンイベントを開催予定です。
- ・6月27日 3books vol.2 6月27日 まちなか朝市 7月11日 ブックトークvol.21
- ・総会はい、その後の懇親会を飲食無しの名刺交換会的なものにして開催予定。
- ・7月 福引き
- ・7月2日/3日 夏まつりを実施予定
- ・7月1日(木)から11日(日)まで コロナに負けるな！レシート抽選会開催予定
- ・まん延地域外なので5月30日に開催済み、10月3日も現状と変わらなければ、感染症対策を行いつつ、町道を歩行者天国にして手作り市を開催します。次回から、酒類の持ち込みを禁止するか検討中。
- ・福引抽選会
- ・2021年1実施予定のはしご酒を8月に期間をずらして実施予定。
- ・福引き
- ・夏休み福引き・オリンピック装飾
- ・7/31(土)に実施予定だった夕暮れ酒場イベントを予定通り実施
- ・6/18～7/05 開催予定のサマーキャンペーンを予定通り実施
- ・キャッシュバックセール
- ・6月お中元セールは十分な感染症対策をとって実施する。
- ・5月アジアンフェスタ独自に開催 7月8月銀座街夏祭り実施予定
- ・8月予定の、七夕飾り(商店街隣接の公園で行う)

3-3. 関連して、既存の事業をコロナ禍の中でも実施できるように変えるなどして、バージョンアップしたことはありますか？ 商店街のこと、ご自分のお店のことどちらでも構いません。何かやってみたことなどありましたら教えてください。

28件の回答

◆さまざまな感染症対策をしながら、イベントやセールを実施していることがわかる。

[商店街]

- ・横須賀市・商工会議所との連携、コロナ接種券優遇
- ・恒例で実施していたガラポン抽選会は密になりがちの為、投函制で後日当選発表の方式に変更するなど、コロナ禍の中でのイベントを模索中。
- ・ワンストップ型の参加型イベント
- ・少ない人数の参加者のイベントを実施、集客イベントは時間帯を短くする
- ・バザール等のイベントから少し工夫し、その場での飲食無しでのテークアウト専門の市を計画中
- ・総会でのリモート参加
- ・イベント中止の為、その予算をコロナ禍の対策として自動体温計、炭酸濃度計測器、消毒器などを商店会の半額負担であっせんした。 コロナ禍に取り組んでいる商店会
- ・新規店舗の紹介を録音して全体のアナウンスで流す事を始めた。
- ・イベントでは歩行者天国の出入りが自由な空間を「会場」として区切り、感染症対策(マスク着用の確認、検温、手指消毒への協力)に協力頂いた方に確認済みリストバンドを着用していただき、無い方には販売しない、屋外でも休憩エリアの席数を半数にし、飛沫感染シートを設置、長時間の滞在を遠慮していただいたり、スマホ利用者にはcocoa等のアプリの利用を勧めて行うようにしている。(現在も対策の検討を続けている)
- ・昨年夏冬のガラポン抽選会を中止し、スクラッチカード方式に変更したが、盛り上がりには欠ける企画となったが多少なりと商店街の集客UPに貢献できたと思う。
- ・前述のはしご酒を、テイクアウトも可能なスタイルとし、感染対策を徹底して実施する。
- ・お車までデリバリーサービス 店舗の近くまで車で来てもらい配達
- ・テーブルや椅子の設置をイベント会社に委託した
- ・(商店街)昨年度、商品券(紙)発行をプリペイド方式にて実施(10/16-17販売、利用期間1/21)。参加店舗数が少なかったのが盛り上がりには欠けた感があったが、プリペイド利用者には好評だった。
- ・環境衛生
- ・今後、来街の減少は確実と思われるので、ネット環境の整備は急務。
- ・バスカーライブでは観覧スペースに足型シートを貼って対人距離を保ち、ステージ前には飛沫感染防止のために透明のスクリーンを設置しています。
- ・テレワーク、Zoomでのミーティングを開催
- ・事業が休止しているので、従来のイベントや事業の見直しをする良い機会ととらえて役員にはかっている。

[個店]

- ・2日間に集中して行っていた補聴器のメンテナンスサービスを1ヶ月間にのばした
- ・店舗では、ハンディタイプの検温器からサーモカメラに変更した(ハンディタイプだとお客様と対面になることや人的手間を省くため)。

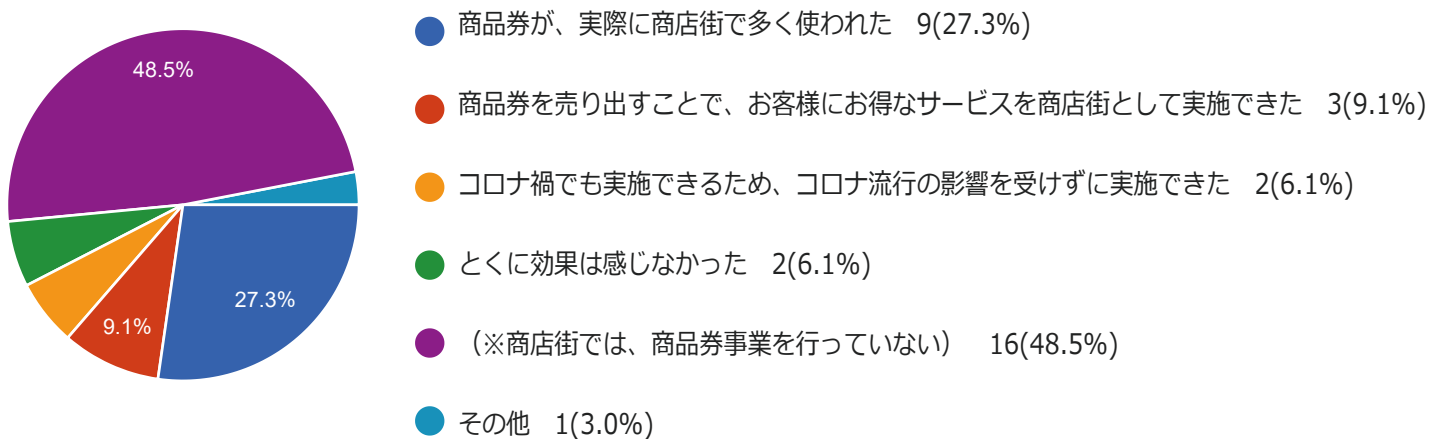
～プレミアム商品券等の事業について～

(昨年度は、県や市が商店街のプレミアム商品券発行への支援制度を創設するなど、商品券等について様々な動きがありました。前回のアンケートでも、神奈川県のパレミアム商品券事業も大変好評だったとお聞きしています)

4. そこで、商店街で独自の商品券事業を行った商店街の方にお聞きします。あなたの商店街・お店では、具体的にどんなことに効果を感じましたか？ 以下の中から該当するものを選んでください。

33 件の回答

◆最も多く回答があったのは「商品券が、実際に商店街で多く使われた」で、27.3%だった。



【その他の内容等】

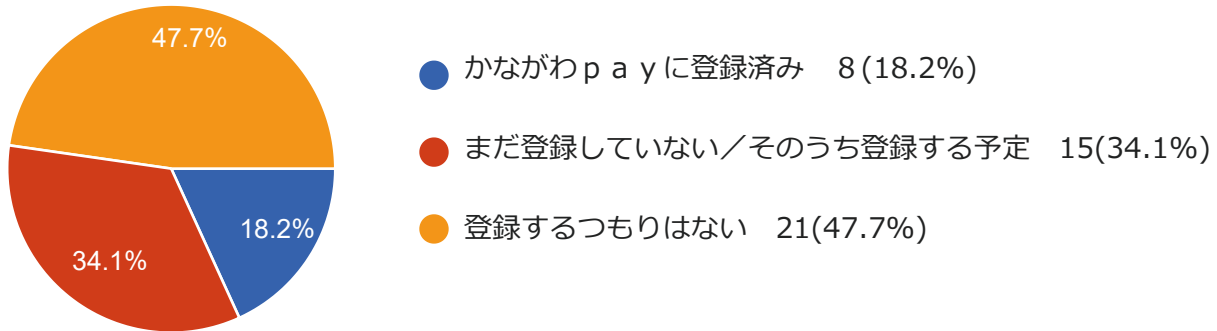
- ・営業はしていないのに本社登録地が他市のため市全体の事業に参加できなかった。
- ・実施店が自分で購入し、自店で換金することでも良いのか？それも経済効果と云うことなのか？
- ・賢い消費者は、1円の安さよりプレミアム分のお得感を知っている

～かながわp a yについて～

5-1. 神奈川県は、県独自の【神奈川県キャッシュレス・消費喚起事業】として夏から秋にかけて（7/1～9/30）に「かながわp a y」キャンペーンを行います。4月からは、かながわp a y 加盟店の募集が始まっていますが、あなたのお店は加盟店の登録をしていますか？

44 件の回答

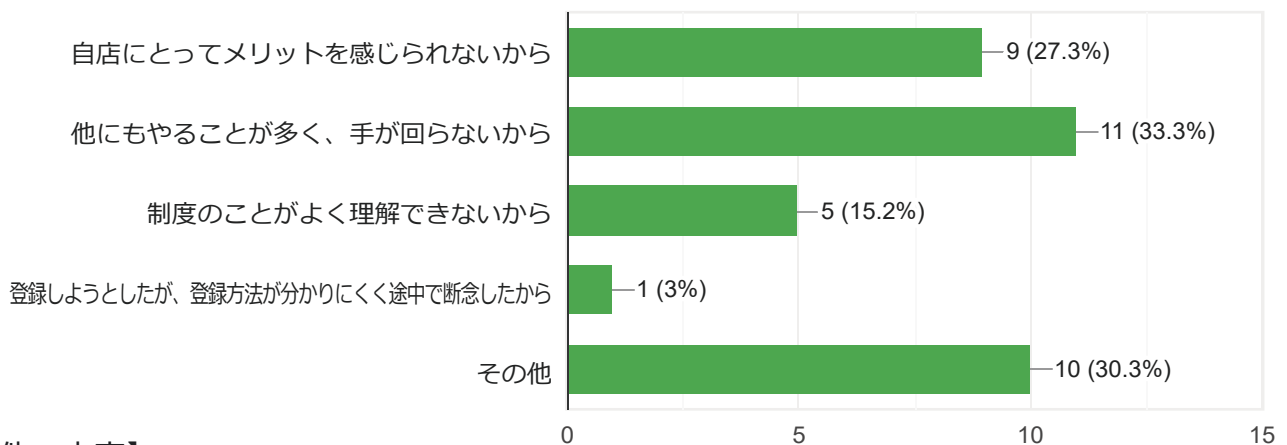
◆最も多く回答があったのは「登録するつもりはない」で、47.7%だった。



5-2. まだ登録をしていない、または登録するつもりはない、というお店の方にお訪ねします。その理由はなぜですか？

33 件の回答

◆最も多く回答があったのは「他にもやる事が多く、手が回らないから」で、33.3%だった。



【その他の内容】

- ・商店街全体で取り入れる事に対して前向きでないため、個店ごとの対応にしている。
- ・手数料を支払うことになる為。(同意見1件)
- ・また新たなアプリだから。
- ・お客様の年齢層が高い為、仮想通貨などスマホを用いた支払方法が出来ない方が多い為、現時点では登録を考えていないのが現状
- ・機器とかの準備がめんどくさい。
- ・QR自体がついて行けない
- ・不動産業なので使用範囲が限られるので
- ・自分が留守時に高齢の両親が対応出来るかが心配
- ・予算はポイントではなく店舗が負担する手数料に充当し、キャッシュレスの利便性や話題性、お客様のニーズを負担なく体験することが優先されるべきだったと感じます。
- ・これから急いで申し込む。

- ◆景況感について聞いたところ、最も多く回答があったのは「やや悪くなった」で、35.6%だった。また、「どちらともいえない」も多く、次点の31.1%だった。
- ◆コロナ禍による人出への影響については、4/20のまん延防止重点措置適用が29.5%と、回答が多かった。4/20がターニングポイントになっていることが分かる
- ◆商店街のイベント中止の判断については、「6月～7月末までのイベントを中止、または延期」で、35.1%。「6月～8月末までのイベントを中止、または延期」が29.7%。合わせて64.8%の商店街が、夏のイベントを延期または中止としていることが分かった。
- ◆その中でも、実施できたイベント等については、中元セールなどを実施した商店街がいくつかあった。
- ◆また、コロナ禍でバージョンアップしたことを尋ねると、さまざまな感染症対策をしながら、イベントやセールを実施していることが分かった。
- ◆プレミアム商品券の効果については、最も多く回答があったのは「商品券が、実際に商店街で多く使われた」で、27.3%だった。
- ◆県独自の「かながわpay」キャンペーンへの加盟店登録について聞いたところ、残念ながら最も多く回答があったのは「登録するつもりはない」で、47.7%だった。
- ◆その理由は、「他にもやる事が多く、手が回らないから」が多く、33.3%だった。プレミアム商品券などもあり、様々な商品券等で個店のレジ回りが煩雑になっていることが伺える。